

(参考様式 10)

サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者【実践研修】受講にかかる
個別支援計画（原案）作成業務に関する届出書

年 月 日

盛岡市長 様

事業者 所在地：

名称：

代表者職・氏名：

サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者【実践研修】の受講にあたって必要な実務経験（OJT）について、下記の者が要件①及び②をいずれも満たしているため、届出します。

氏名	
生年月日	年 月 日
サビ管・児発管【基礎研修】修了日	年 月 日
個別支援計画（原案）の作成 までの一連の業務（要件②） に従事した施設・事業所	事業所番号： 施設・事業所名：
個別支援計画（原案）の作成 までの一連の業務（要件②） を含むOJT期間	年 月 日 ～ 年 月 日 計【 年 か月】 （実践研修開始日の前日時点（予定も含む）まで）
届出時点の業務内容	

※ 実践研修受講に必要な「6か月以上」の実務経験（OJT）とは、業務に従事した期間が6か月以上であり、かつ、実際に業務に従事した日数が90日以上であること。

《要件》

- ① 基礎研修受講時に既に、サービス管理責任者又は児童発達支援管理責任者の配置に必要な実務経験要件（相談支援業務又は直接支援業務3～8年）を満たしている。
- ② 障害福祉サービス事業所等において、個別支援計画作成の業務に従事する。
個別支援計画の作成の業務については、十分な実施を担保する観点から、少なくとも概ね計10回以上行うことを基本とする。
【具体的には以下のいずれか】
 - ☐ サービス管理責任者等が配置されている事業所において、個別支援計画の原案の作成までの一連の業務（※）を行う。
（※）利用者への面接の上アセスメントを実施し、個別支援計画の原案を作成し、サービス管理責任者等が開催する個別支援会議へ参加する等。
 - ☐ やむを得ない事由によりサービス管理責任者等を欠いている事業所において、サービス管理責任者等とみなして従事し、個別支援計画作成までの一連の業務（アセスメント、計画原案作成、支援会議への参加、利用者等への説明・計画書交付、計画の見直し等）を行う。
 - ☐ 令和3年度末（令和4年3月末）までに、実務経験者及び基礎研修修了者となったサービス管理責任者等（経過措置対象者）であって、個別支援計画作成までの一連の業務を行う。

この様式は、下記の添付書類と併せて実践研修の受講申込みまでに盛岡市あて届出すること。

《添付資料》

- ・実務経験証明書（原本）・・・要件①の根拠資料
- ・勤務形態一覧表（備考欄等に、対象者がOJT期間であることを記載すること）
- ・サビ管・児発管基礎研修修了証の写し
- ・個別支援計画作成の一連の業務に従事していることが分かる資料の写し